

小中学校の長寿命 計画と幸松小学校の 建て替えについて



武彦 議員
卯月

市内の小中学校の校舎は、来年度で耐震化が全て終わります。しかし、老朽化しているものが多く、雨漏りや、汚く、洋式便器の少ないトイレなど多くの問題があります。市では、長寿命化計画を策定するとしていますが、そのスケジュールについて伺います。

また、文部科学省が示している長寿命化は、単なる改修ではなく、現在求められる水準に機能の向上を行うこととし、躯体だけを残して全面改修する例を挙げています。こうした改修を考えているのでしょうか。なお、築46年が経過している幸松小学校は、建て替えるべきだと思いますが、市の考えを伺います。

○学校教育部長

平成26年度に、市が所有する施設全体の公共施設白書の策定に着手し、公共施設の現状を明らかにした上で、公共施設マネジメント計画など市

全体の方向性や方針が策定されます。この計画に基づき、学校施設の個別の長寿命化計画を適正な時期に策定する予定です。

柱とはりの躯体だけを残した全面改修は、長寿命化改良事業と言われるもので、建物の耐力度が基準を下回った場合の選択肢の一つです。幸松小学校については、耐震補強工事が終わり、構造上の安全性が確保されていますので、現時点での改築は考えていません。

このほか

○公契約条例の制定を

中心市街地の 活性化について



一 議員
佐藤

春日部市総合振興計画後期基本計画の中で「魅力ある中心市街地の創出」がうたわれており、連続立体交差事業の推進及び連続立体交差事業と一体となったまちづくりの推進を掲げています。そこで、中心市街地の近年の土地利用や経済活動の動向をどのよう

に認識し、中心市街地まちづくり計画の中で取り組んでいるのか伺います。また、県内にぎわいの維持や創出に関する先進的な事例と土地利用の施策は具体的にどのような考えられるのか伺います。

○鉄道高架担当部長

中心市街地では、共同住宅が増加しており、統計書からは、商業によるにぎわいや活力が減少傾向にあるものと認識しています。なお、連続立体交差事業の進捗状況や周辺の整備状況、財政状況等を総合的に勘案し、必要な事業を進めていきます。

○都市整備部長

宮原駅東口地区で地区計画を活用した例があります。中心市街地には、地区計画制度の活用が効果的です。都市的な魅力を持つ建物の誘導や歴史的な資源を活用した店舗を促す等の魅力を高めることが効果的ですが、一定の規制をするものになりますので地域住民と連携を図りながら検討していきたいと考えています。

このほか

○高次脳機能障害対策及び支援について

○生産緑地の有効利用について

自動販売機を活用した 防犯対策について



好章 議員
矢島

近年、全国的に不審者による学校への侵入事件や登下校時の声かけや連れ去り等、子どもが被害者となる事件・事故が凶悪化・多発化し、安全・安心が脅かされている実態となっています。このことから、特に、児童・生徒の登下校時における安全確保の充実は、本市においても重要な課題であると考えます。埼玉県警察本部の資料によると、「子どもに対する声かけ事案」発生認知件数は、平成25年の一年間では県内で9番目に多い実態となっています。

小中学校の敷地内や、その付近、および通学路への自動販売機を活用した防犯カメラの設置について、市の考えを伺います。

○学校教育部長

本市では、全ての小中学校の正門などに防犯カメラを設置し、防犯対策を行っています。

自動販売機を活用した防犯カメラの設置について、学校付近や通学路に設置するためには、自動販売機の設置場所の確保や、他市の取り組みでも課題となっている採算性の課題があることから現時点では困難であると考えています。

しかし、児童生徒を犯罪から守ることは重要であると認識しており、今後も通学路の安心安全を図る方策を調査研究していきます。

このほか

○社会福祉法人制度について
○民生委員・児童委員協力員制度の導入について



市が設置した防犯カメラ

市立病院における 救急対応について



海老原光男
議員

救急車の搬送先が決まらず長時間現場に滞在せざるを得ない状況が課題となっており、救急搬送の全てを市立病院で担うことは難しいと考えますが、救急医療は市の政策医療であり、市立病院には多額の税金が投入されていることから、市のために果たすべき役割は大変重要であると考えます。

そして、8月31日には、新市立病院の起工式も行われ市民の皆さまから、より一層期待される所です。救急医療については、現在の市立病院の救急受け入れ体制や救急車の受け入れ状況を伺います。

○病院事業管理者

市立病院の救急受け入れ体制について、診療時間内は、手術中等で対応ができない場合を除き、原則全て受け入れることとしています。診療時間外は、当直医師や臨床研修医のほか、看護師、放射線技

師、検査技師、薬剤師で対応していますが、医師が専門外であるなどの理由でお断りせざるを得ない場合があります。

救急車の受け入れ状況について、今年度は7月までの要請件数1533件に対し、受け入れ件数は925件、受け入れ率60・3パーセントであり、徐々にではありますが受け入れ件数、受け入れ率とも上がってきている状況です。

このほか

- 市内公共建築物におけるアスベスト対策の進捗について
- 市内の民俗芸能の継承について



現在の市立病院

住宅リフォーム 助成制度の 早期実現を



坂巻 勝則
議員

住宅リフォーム助成制度は、平成23年12月議会において創設を求める請願が議会で採択されたにも関わらず、いまだ実現されていません。

この制度は、リフォーム工事費の5パーセントから20パーセントを、限度額5万円から20万円で助成するものです。

住宅リフォーム助成制度は、少ない予算で大きな経済効果を生み出すことが期待され、多くの自治体で実施されています。工事を地元の中小業者に発注するよう工夫し、助成を市内だけで使える商品券で給付をすれば、リフォームする市民だけでなく業者や商店街にとってもメリットがあり、経済波及効果も大きく、市内産業の振興にもなる制度です。加須市では、2012年に922万円の予算で、243件、2億7905万円の工事が行われました。実に30倍の経済効果です。

埼玉県では現在、63市町村中38もの自治体でこの助成制度を実施しています。

多くの市民が望んでおり、請願も採択されている住宅リフォーム助成制度を早期に実施すべきではないでしょうか。

○市長

市民が安心して暮らせる住宅環境を確保していくことは、重要な施策と考えています。国では、人口減少、少子高齢化を捉えた住宅施策の検討が進められており、今後も国の動向を注視していきます。

このほか

- 一ノ割駅の橋上化を

学校教育について



小島 文男
議員

庄和地区の宝珠花小学校、富多小学校、江戸川中学校は、児童生徒が100人を切っています。この減少する学校環境の中で、果たして子どもたちが充実した勉強をして社会に飛び出せるのか。小中一貫教育という形で子どもたちが幸せに勉強のできる環境と教

育を考えるべきと思いますが、市の考えを伺います。

また、全国学力テストは公表して、子どもたちや学校が切磋琢磨して伸びていくのが望ましいと考えます。全国学力テストの結果を踏まえて、教育委員会が主体となって学力向上に向けて努力している自治体もあります。子どもの学力向上について、市長、教育長の見解を伺います。

○学校教育部長

宝珠花小学校、富多小学校を統合し、江戸川中学校敷地内で特色ある小中一貫校を目指すという地元の意向を踏まえた、小中一貫校の実施を指していきたいと考えます。

○教育長

「春日部メソッド」を徹底し、物事を深く考え、的確に表現する、総合的で実践的な子の育成に努めていきます。

○市長

学校と地域と家庭がしっかりと連携を図っていただくことに加え、市も教育委員会と連携を大いに図りながら、しっかりと支援していきます。

このほか

- 大落古利根川再整備計画について
- 生涯学習について

**農業経営の現状と
今後について**



斉藤 義則
議員

わが国の食を支える農業が危機にひんしています。農地面積は減少、一方で遊休農地は増加しています。また、農業従事者は高齢化しています。この現状を打破するためには、まず優良農地の確保と有効利用が必要と考えます。

そこで、本市の農業基盤整備事業について、また増加している遊休農地の対策や農業従事者の高齢化対策の取り組みについて伺います。

○環境経済部長

本市では農業基盤の整備となる土地改良事業として、農道整備事業、用排水路整備事業、農業用施設適正化事業があり、農道や用排水路の整備を進めています。遊休農地の対策や、農業従事者の高齢化対策の取り組みとして、農地集積対策事業では、まず、人農地プランを作成し、農地の集積化を図ります。また、人材をあっせん紹介する農業へ

ルパー制度も実施しています。さらに、今年度から開始された多面的機能支払交付金や、農地中間管理事業などを積極的に活用することで、農業経営の効率化が進むと考えており、法人化を目指す方に対しては、研修の情報提供などの支援も行っています。

今後も農業を取り巻く状況を注視しつつ、関係機関と連携し、農業活性化に向けた有効な事業を展開していきます。

このほか

○元気な高齢者のために

○農村部、河川敷等への不法

投棄の現状と対策

**音楽都市・春日部へ
魅力あるまちづくりについて**



水沼日出夫
議員

春日部に芽生えている音楽都市のブランドイメージを皆で育てていくプロセスが、絆を生み、住み続けたいと思いを醸成するはずと考えます。

そこで、市内の音楽団体が上げている輝かしい功績などに對し、市としてどのようにたたえ、市民に情報発信して

きたのかを伺います。

また、わが街にも来ている本格的な人口減少・少子高齢化の波に歯止めをかけ、日本一幸せに暮らせる街を目指すのであれば、音楽都市のブランドイメージの確立と、シビックプライドの醸成は必須であり、もつとも有効な手立てと思えてなりません。市の見解を伺います。

○総合政策部長

市内では、すばらしい功績のある音楽団体が複数存在しています。そうした方々を、まちの情報誌「kasuka plus」で紹介し、多くの方へ魅力を発信しました。また、市内外の施設や、各種マスメディアなどにも積極的に情報発信をしてきました。

本市のシティセールスの目的は、市への愛着や誇りを育てることであり、音楽文化は、有効な地域資源です。今後も、さまざまな音楽イベントをより一層充実させ、効果的な情報発信を行い、本市のブランド化を図っていきます。

このほか

○地場商店街活性化に臨む市民活動について

○八木崎土地区画整理事業にかわる新たな計画について

**下柳地区の
大型ショッピングモール
周辺の道路について**



吉田 剛
議員

平成25年3月、春日部下柳地区に大型ショッピングモールが新規オープンしました。春日部の市街地から大型ショッピングモールへ行く道のりとして、新しくできた藤塚米島線を利用し、4号バイパス手前の埼玉葛城農道を利用する方法があります。

この埼玉葛城農道ですが、大型ショッピングモールへ向かう途中に、見通しの悪いS字カーブやガードレールの破損、路面の舗装状況について劣化しているように見受けられる箇所があります。

そこで、この埼玉葛城農道について、管理主体、現状認識及び安全対策等について伺います。

○建設部長

埼玉葛城農道は、埼玉県が整備を行ったものですが、道路の維持管理については関係市町が行うことをあらかじめ定めていたため、関係市町に

移管され現在に至っています。近年は、埼玉県東部地域を南北に結ぶ利便性の高い道路のため、大型車の交通量増加や、大型商業施設の開業による周辺道路も含めた交通量の増加を認識しています。

現在、埼玉県が事業主体となり、埼玉葛城農道の保全対策計画を作成しており、計画が出来上がるまでは、これまでも同様に舗装破損箇所の修繕などを行っています。

このほか

○にぎわいの創出について

○春日部駅の東西通行につい

て



埼玉葛城農道のS字カーブ

**子育て支援対策
予防接種及び健康診断
メール配信について**



荒木 洋美 議員

近年の予防接種法の改正により、法に基づいて実施される予防接種が増加し、対象年齢や接種間隔も変更され、そのため保護者による予防接種のスケジュール管理が非常に複雑化しています。お子さんの体調により、一度接種できないと次回の予定を組むのは大変です。

そこで、保護者が携帯電話やパソコンで、子どものニックネームや生年月日、予防接種状況を入力することでBCG・ヒブなどの定期接種や、水ぼうそう・B型肝炎などの任意の予防接種のスケジュールが、オーダーメイドで作成されるモバイルサイトがあります。ぜひ本市においても導入すべきと考えますが、いかがでしょうか。

○健康保険部長
近年、予防接種法の改正が頻繁に行われ、種類や方法も複雑化しています。こうした

状況に対応するため、広報かすかべ、市公式ホームページ、健康カレンダーへの掲載、個別通知など、さまざまな方法で情報提供に努めています。

メール配信等については、予防接種や検診の受け忘れを防ぐなど、一定の効果があると考えますが、提案いただいた方法を含め、個人情報のお取り扱いの確保や、子育て情報提供の一元化の方法等を十分に精査した上で、今後の方向性を見極めたいと考えています。

このほか

- 防災・減災対策について
- 安心・安全なまちづくり

傍聴して一言

一問一答方式もだいたい定着し、論点が分かりやすくなったが、質問者、答弁者に希望するのは、メモを見ずに質問・答弁をしてください。

男性・70歳

エアコン設置の見通しが出てきて本当にうれしく思いました。ぜひ早急に実現できるように、よろしく願います。

女性・66歳

※割愛させていただいた部分もあります。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

- 7月25日
平成26年第4回（7月）臨時会の運営について
- 8月20日
平成26年9月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

- 7月10日
政務活動費の額について
- 政務活動費の公表方法等について
- 議員研修会の開催について

7月30日

- 政務活動費の額について
- 本特別委員会の今後の新たな検討課題等について

8月20日

- 議案質疑と一般質問のあり方（代表質問制度等）について
- 携帯電話等の本会議場内への持ち込みについて

▽広報広聴委員会

- 中間報告書（案）について
- 7月30日
議会報告会の開催について
- 政務活動費の公表方法について

9月25日

- 視察結果報告書について

- 議会報告会の開催について
- 議会だより第37号の発行について
- 政務活動費の公表について

10月6日

- 議会報告会の開催について
- 議会だより第37号の発行について

▽図書室運営委員会

- 10月6日
図書購入について

**総務大臣
感謝状の贈呈**

平成26年10月17日に開催された「平成二十六年都道府県議会総務大臣及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式」において、次の方が総務大臣から感謝状を贈呈されました。

【議員在職35年】

○小島 文 男

次の定例会は

11月26日（水）

午前 10 時

開会予定です

**政務活動費
収支報告一覧の公開**

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。政務活動費の収支報告を一覧を、市議会ホームページで公開していますので、ご覧ください。

なお、政務活動費の収支報告一覧は、議会事務局のほか市役所本庁舎及び庄和総合支所の市政情報室で閲覧できますので、お問い合わせください。

広報広聴委員会

- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 荒木 洋美 |
| 副委員長 | 大野とし子 |
| 委員 | 石川 友和 |
| 委員 | 水沼日出夫 |
| 委員 | 斉藤 義則 |
| 委員 | 古沢 耕作 |
| 委員 | 矢島 章好 |
| 委員 | 蛭間 靖造 |
| オプザーバー | |
| 議長 | 河井 美久 |
| 副議長 | 栄 寛美 |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111（代表）

内線3116